

R18

成人向け

虫神
さまの
嫁

ねこのてしよぼう
<http://www.nekonta.com/>

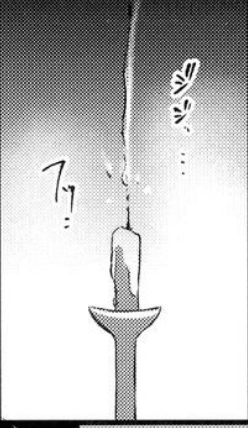
Adult
Only

ねこnote(しほ)
 Nekonote-Shobou

私の村には昔から「蟲神さま」という神様がいて

十二年にひとり女を選んで「嫁」に出す。

今年是我的番だ。



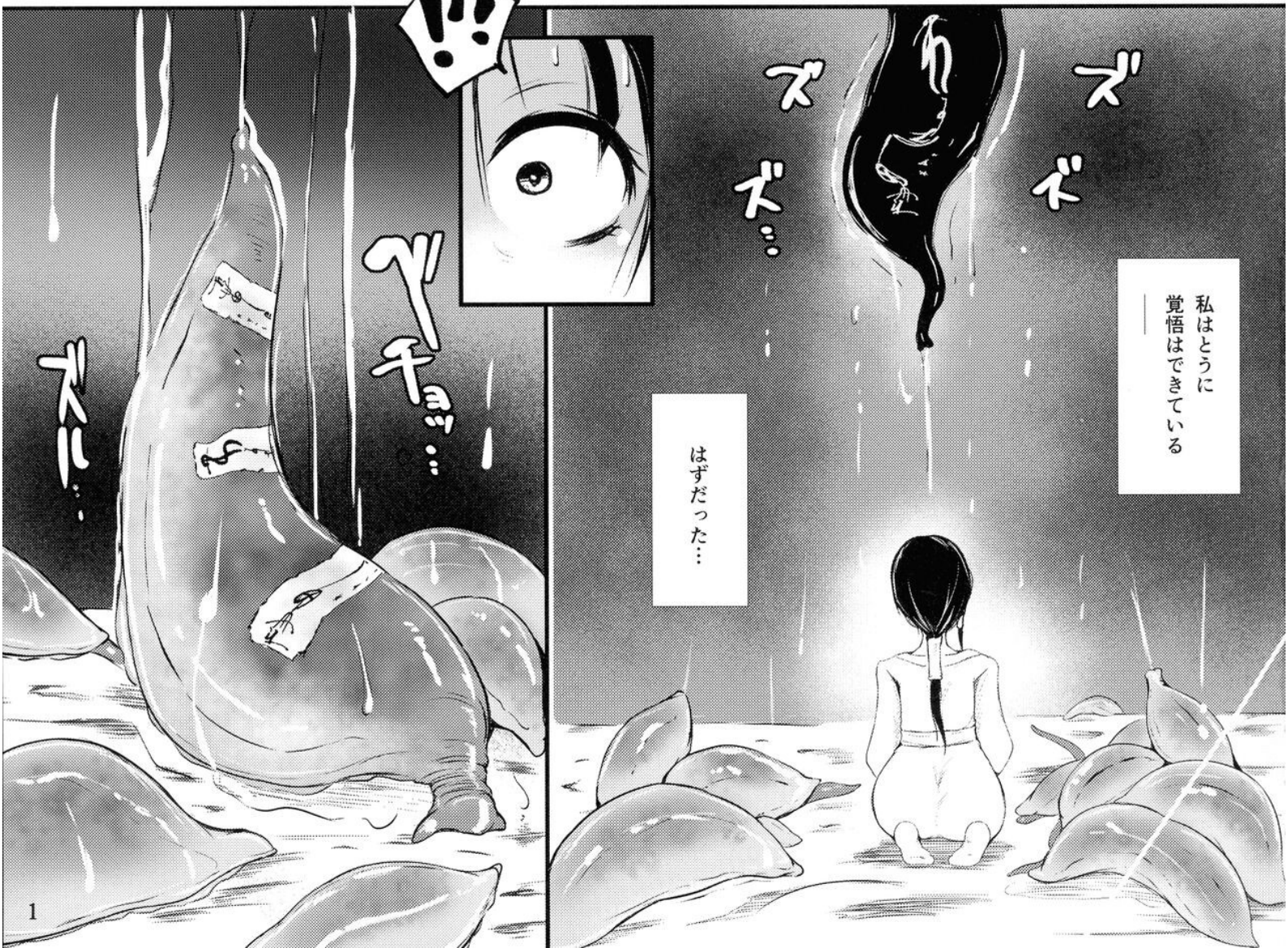
母は帰ってこなかった。「嫁」とは言ってもそれはきつと



その前の「嫁」は私の母だった…。



生贄のようなものだろう…



私はとうに覚悟はできている

はずだった…



ギョッ…

ズズズ…

ズニ

それは「神さま」と呼ぶにはあまりに醜い：

人ほどもある大きな蛭だった。それを囲むように

「嫁」とはやはり生贄のことなんだろう。



たくさんさんの山蛭がうごめいている：

私も母のように：



このまま
血を吸われて
死ぬのだと

— そう思ったのに

あ…
ああ

やめて…

こなごな…

ずる…

ずる

ずる

ずる

ずる

ズル

ズル…

怖い…

お母さま…



こんなの神さまが
することじゃない

う...そ

なん...

ブル...

ブル...

ブル...

ブル...



痛...

あ...

乳房が噛まれて
...熱い。毒...?

あろうことか
「蟲神さま」は
私の尻の穴に

口先を延ばして
突っ込んできた。

蟲の毒が
全身に回って…

力が抜けて
動けない…

熱い…

小便も糞も
垂れ流しながら

私は何を

あれ…は…?



これは…
もしかして

さっきの口…
いや違う



牡の根!?



まさか
この蟲は

嘘だ…
うそだ

かや

元気でね

おかあ
さ…?

アッ!!

アッ!!



お母さま…!!

なんで

どうして蟲が

お母さまの声を

じゃあお母さん
行くからね



私の糞を
啜った口が…!!

おぞましい…
おぞましい!

私の糞の味が、
臭いが…

口と喉の奥に
流れ込んで…!

ウッ!!

ウッ!!

何か…見える…
頭の中に…

蟲神が何かを私に
見せようとしてる

これは…
記憶？

やめ

誰かッ…！

助けて…

かやま

お母さま!!

こっちに
来ないで!

アアア

ユル

ユル

ユル

ああ…
堪忍して…

これはお母さまの
記憶なの…？

乳が

燃えるうゝ

ああ…そんな…

やめて

やめて

お母さまが墮ちる

めい

イキッ

イキッ

汚れる

やめて

産まれる…

蟲の仔が…

ごめんね…

かや…

お母さん
蟲の雌に
なっちゃう…

許して

ああ…そうなんだ…
お母さまは

蟲に犯されて
犯されて
犯され続けて

ついにはお母さまが
「蟲」そのものにな
ってしまったんだ…

今まで「嫁」に
送られた女たちも
みんな…

みんな蟲に
変わってしまった

新しい「嫁」を
また犯して—

つまり私は
いま…



お母さまの
成れの果てと

交わっている
——！

う…
う…

グッ
グッ

グッ
グッ

グッ
グッ

グッ
グッ

グッ
グッ

グッ
グッ



いやだ

気持ち悪い

イキたくない

理解したく
ない

こんな…

グッ
グッ

グッ
グッ

グッ
グッ

グッ
グッ

グッ
グッ

グッ
グッ

グッ
グッ



お腹が破れちゃう...

もう膣内に
射精さないで...

もう膣内に
射精さないで...

お腹が破れちゃう...

許して...



これ以上
出されたら
私...

お腹が破裂
しちゃう...

これからは
ずっと…
いっしょに…



お母さまの
ように私も…

お母さま
……



お母さまと淫らな
蟲の「嫁」になって

蟲の仔をたくさん
産みます—



蟲神となった
母と交わり続け



おは：おは：また：
うまれてっうううッ



孕み、
産み続ける――



果てのない
汚泥のような
快楽に浸り――

醜い蟲の嫁にふさわしい、
でっぷりとした
醜い肉の塊と化して

私が

はーっ...

とと

とと

幼い私と別れた時の
母と同じ歳になったころ...



新しい嫁が
来た。

う...

びく...

は...



村から
十二年に一度

手頃な女を
ひとり選んで

寄越してくる...

モザ...

ハ...

ハ...

ハ...



蟲の皮を被って
蟲神になる——



あの娘は
私の「嫁」だ。



私たちノ仔ヲ産ンデオクレ——

タイトル

蟲神さまの嫁 むしがみさまのよめ

発行：ねこのてしよぼう（ねこんた）

発行日： 2023年12月31日 C103 新刊

印刷：栄光印刷

連絡先：twitter(@nekonta) pixiv ID 306373

淫蟲なのに母子姦。ねこんたでございます。

もうちょっとキャラとして母要素出しても良かったかもしれないですね。

神様というより妖のたぐいの「蟲神さま」というのが村の女たちを次々と取り込んで陵辱して仔を産ませる、そういう謎風習を延々と続けている、そんなお話です。

母視点の短編も面白いかもしれないと思いながら、ゴリゴリ汁を描きこんでいました。日本の伝承とか妖怪、闇深い因習大好きです。デワ